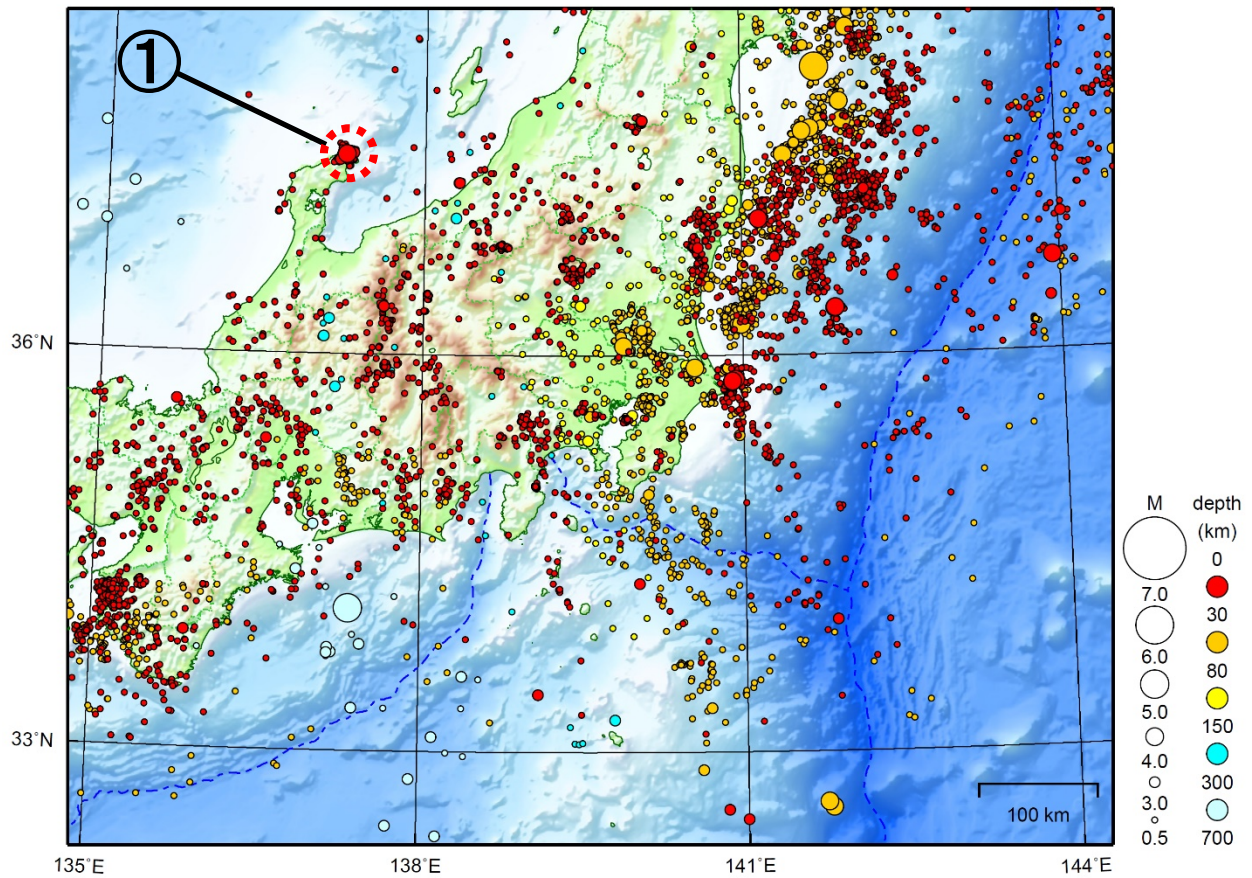


関東・中部地方

2022/02/01 00:00 ~ 2022/02/28 24:00

N=6220



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 石川県能登地方では2月中に最大震度1以上を観測した地震が6回（震度3：1回、震度2：1回、震度1：4回）発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

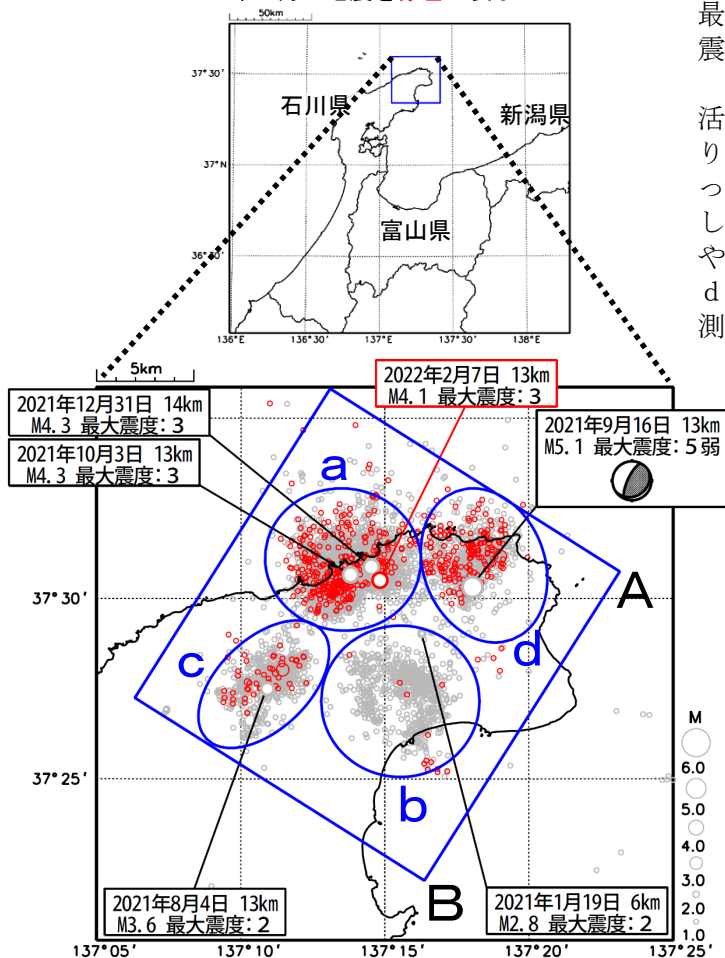
気象庁・文部科学省

石川県能登地方の地震活動

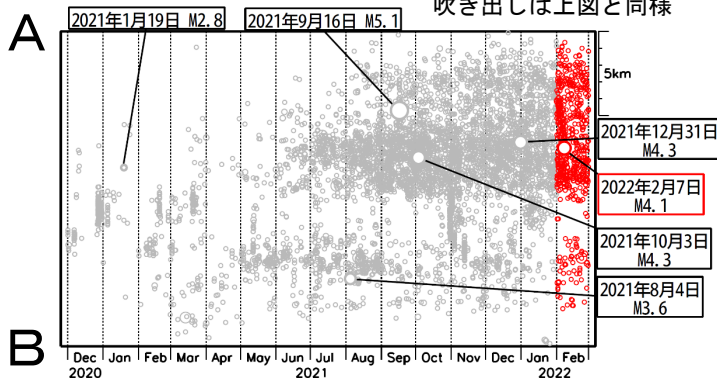
震央分布図

(2020 年 12 月 1 日～2022 年 2 月 28 日、
深さ 0～25km、M $\geq$ 1.0)

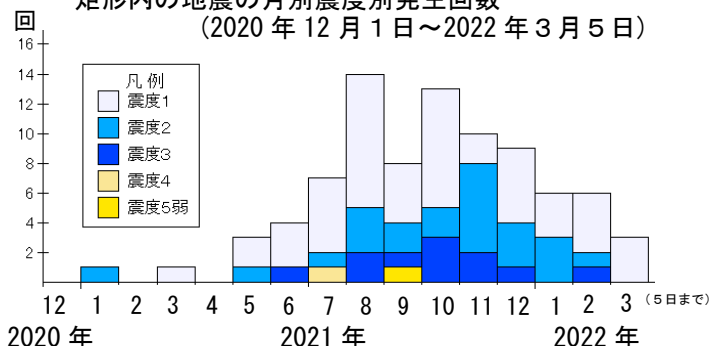
黒色の吹き出しは各領域 (a～d) 内で最大規模の地震
赤色の吹き出しは矩形内で 2022 年 2 月中の最大規模の地震
2022 年 2 月の地震を赤色で表示



上図矩形内の時空間分布図 (A-B 投影)
吹き出しは上図と同様



矩形内の地震の月別震度別発生回数
(2020 年 12 月 1 日～2022 年 3 月 5 日)



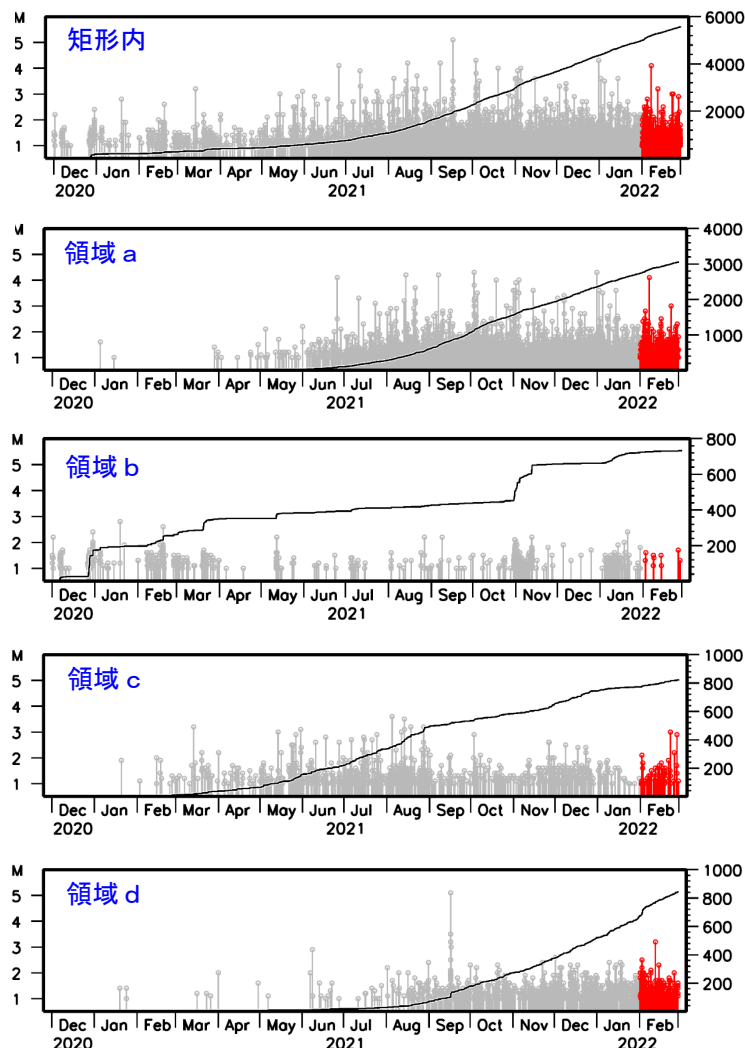
石川県能登地方 (拡大図の矩形内) では、2018 年頃から地震回数が増加傾向となり、2020 年 12 月から地震活動が活発になった。2022 年 2 月中もその傾向は継続している。2022 年 2 月中の最大規模の地震は、7 日に発生した M4.1 の地震 (最大震度 3) である。なお、活動の全期間を通じて最大規模の地震は、2021 年 9 月 16 日に発生した M5.1 の地震 (最大震度 5 弱) である。

2020 年 12 月以降の領域別の地震活動をみると、最初に活発化した領域 b の活動は、2021 年 4 月以降鈍化傾向であり、2021 年 11 月初頭前後や 2022 年 1 月頃に一時活発になったが 2022 年 2 月中は低調であった。領域 b に続き活発化した領域 c の活動も鈍化傾向であるが、2021 年 12 月はやや活発になった。一方、遅れて活発化した領域 a 及び領域 d の活動は依然活発である。矩形領域内で震度 1 以上を観測した地震の回数は以下の表のとおり。

期間別・震度別の地震発生回数表

期間	震度					
	1	2	3	4	5 弱	計
2020 年 12 月 1 日 ～2022 年 1 月 31 日	42	22	10	1	1	76
2022 年 2 月 1 日～28 日	4	1	1	0	0	6
2022 年 3 月 1 日～5 日	3	0	0	0	0	3
計	49	23	11	1	1	85

左図矩形内及び領域 a～d 内の
M-T 図及び回数積算図
(2020 年 12 月 1 日～2022 年 2 月 28 日)



気象庁作成